

# 寒河江市における部活動改革

## （部活動改革説明会資料）

寒河江市教育委員会  
学校教育課 学校再編整備室

## 部活動の意義と位置づけについて

- 人間形成の機会、責任感や連帯感の涵養、自己肯定感を高める等、教育的意義がある活動。
- 学習指導要領において、**教育課程外**の活動。教育課程内との関連が図られるよう留意することとされている。
- 生徒の自主的、自発的な参加による活動。**任意加入**が前提。

## 部活動の課題について①

### ①生徒の希望とのギャップ

- チーム編成ができない。
- やりたい部活動がない。
- やりたい活動と実際が違う。



**持続可能な部活動**

## 部活動の課題について②

### ②教師による献身的な姿勢

- 指導経験のない教師にとって多大な負担。
- 時間外勤務時間の一番の理由。
- 部活動のために、休日を返上する心理的負担も大きい。



**教師の負担軽減**  
**部活動改革**

## （山形県）部活動改革の目的について

# 両立 生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術活動環境 教師の働き方改革

## （山形県）休日の部活動の考え方について

**部活動は平日のみ**とし、**休日は原則行わない。**

（中体連主催大会等へ学校単位での参加を除く。）

R5～R7まで**段階的**に進め、**可能な限り早期の実現を目指す。**

# 寒河江市の部活動改革について

## 最上位目標

### ➤ **生徒の主体性を育む活動を支援する。**

## 上位目標

- 生徒が主体的に参加できるスポーツ・文化芸術活動環境の構築
- 教師の時間外勤務時間の削減

## 寒河江市の方針 部活動改革について

- I. 令和5年度の新中学1年生から学校部活動は任意加入とする。
- II. 令和5～7年度の3年間で、地域クラブ活動が成り立つ仕組みを構築する。
- III. 令和8年度より、学校部活動は平日に行う。休日は地域クラブで活動することを目指す。  
(地域クラブ活動では、複数の学校の生徒が参加することも見込まれる。)

# I. 任意加入について

## 新1年生

- (1) 学校部活動への加入について任意。
- (2) 加入する生徒の参加体制。

## 新2・3年生

- (1) 活動継続の意思に関する調査の実施。
- (2) 継続する生徒の参加体制。
- (3) 外部活動の生徒は、現所属の部への参加は任意。



## 令和5年度 寒河江市内中学校の部活動の加入状況

		陵東中	陵南中	陵西中
1	陸上		35	
2	水泳		14	
3	男子バスケット	25	42	19
4	女子バスケット	17	24	13
5	サッカー		24	
6	野球	20	15	14
7	新体操		14	
8	男子バレー	31	18	16
9	女子バレー	19	20	12
10	男子ソフトテニス	28	20	
11	女子ソフトテニス	38	30	
12	卓球	31	52	17
13	ソフトボール	19	12	10
14	柔道	24	21	
15	剣道	12	22	
	運動部 合計	264	363	101
16	吹奏楽	42	33	12
17	美術		34	
	パソコン		14	
	科学		11	
18	創作		19	
	総合文化	26		
	文化部 合計	68	111	12
	合計（部活動）	332	474	113
	外部	53	29	11
	無所属	17	21	0
	総計	402	524	124

## 寒河江市内中学校の生徒数の推移

	R5	R6	R7	R8	R9	R10
陵南中学校	524	535	565	555	543	543
陵東中学校	402	402	428	398	388	351
陵西中学校	124	124	110	104	94	92
計	1050	1061	1103	1057	1025	986

## 寒河江市の方針 部活動改革について

- I. 令和5年度の新中学1年生から学校部活動は任意加入とする。
- II. 令和5～7年度の3年間で、地域クラブ活動が成り立つ仕組みを構築する。
- III. 令和8年度より、学校部活動は平日に行う。休日は地域クラブで活動することを目指す。  
(地域クラブ活動では、複数の学校の生徒が参加することも見込まれる。)

# Ⅲ. 令和8年度以降の部活動について

これまでの部活動

平日

中学校教師  
部活動指導員

休日

学校部活動

地域クラブ活動

平日

中学校教師  
部活動指導員

休日

地域の指導者

**学校部活動**

≠

**地域クラブ活動**

- 学校部活動は平日に行う。
- R5 1年生から任意加入。

- 学校部活動とは、活動内容や方針が異なる場合もある。
- 複数の学校の生徒が参加することも見込まれる。
- 費用は原則、受益者負担。

## R8以降の生徒の活動例

	平日	休日
活動例 新①	学校部活動	所属なし
活動例 新②	学校部活動	地域クラブ活動
活動例 新③	地域クラブ活動	地域クラブ活動
活動例 新④	地域クラブ活動	所属なし
活動例 新⑤	所属なし	地域クラブ活動
活動例 新⑥	所属なし	所属なし

# 現在の部活動

平日

学校  
部活動

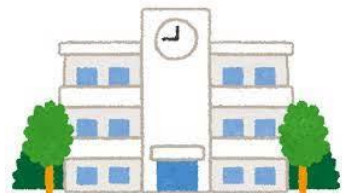


休日

学校  
部活動

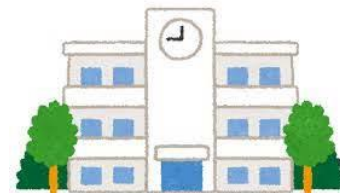


顧問



学校

顧問



学校

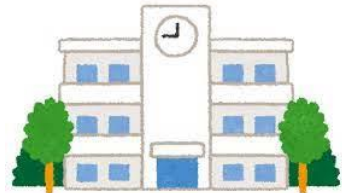
# 活動例 新②

平日

学校  
部活動



顧問



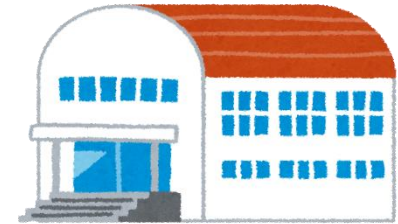
学校

休日

地域クラブ  
活動



コーチ



地域

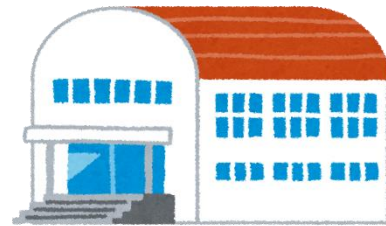
# 活動例 新③

平日

地域クラブ  
活動



コーチ



地域

休日

地域クラブ  
活動



コーチ



地域

# 活動例 新⑤

平日

参加なし



指導者なし



自宅や外



休日

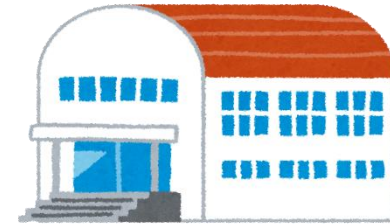
地域クラブ  
活動



コーチ



地域





# 活動の違い

平日

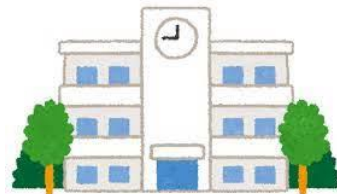
学校  
部活動



必要経費  
• 部費等



顧問



学校

休日

地域クラブ  
活動

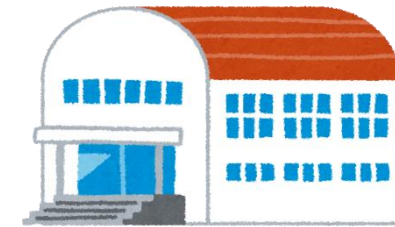


受益者負担

必要経費  
• 指導料  
• 登録料（保険）  
• 施設使用料



コーチ



地域

# 地域クラブへ加入する

地域クラブ活動と学校部活動は違うということ。

- クラブの目的
- 練習日時について
- 経営方針
- 指導者への信頼
- 会費の支払い（指導謝金、施設利用料、保険加入等） 等

諸々のことを検討して地域クラブへ加入する。サービスを受  
受けるのではなく、一緒にクラブを作っていくイメージ。

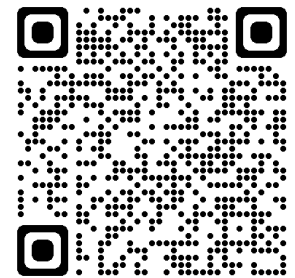
# 中体連への参加について

中体連大会に、クラブからも参加は可能。

中体連大会への参加意向については、各クラブで違う。

中体連大会に「学校部活動」で出るのか、「地域クラブ」で出るのか選択しなければならない。

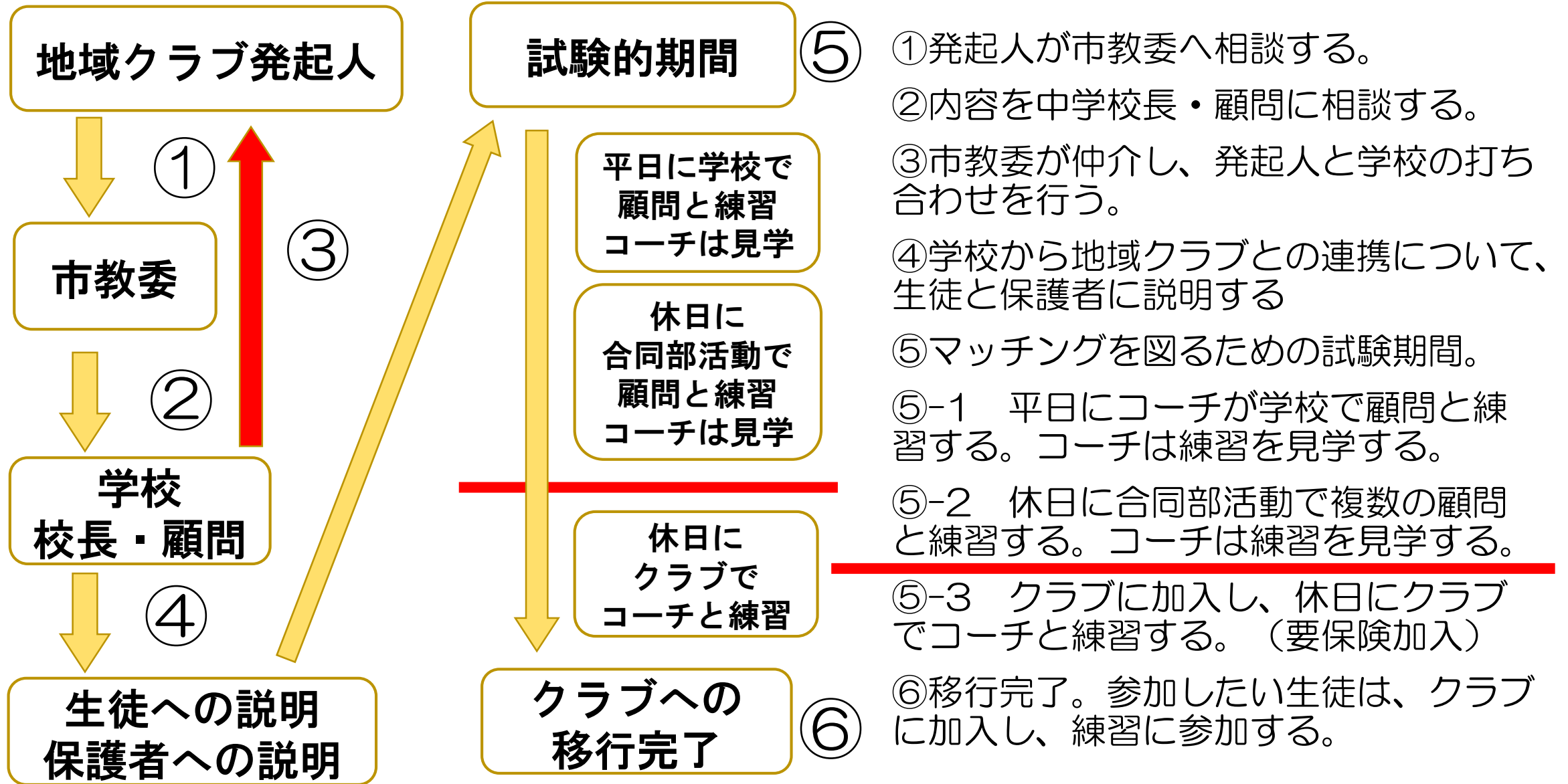
詳しい参加条件等については、中体連のホームページや顧問の先生に確認する必要がある。



# 部活動改革に関わる教師の働き方について

- 教師が地域クラブにおける指導等を希望する場合は、「**兼職兼業**」の申請を行い、市教育委員会の許可が必要となる。
- 許可された教師は、**報酬を得て、指導等にあたる。**
- **ボランティア**で活動する場合は、「兼職兼業」の申請は必要がない。**労働時間ではない**ため通算する必要がない。
- 教師が実際に指導を望んでいないにもかかわらず、周囲からの要望や同調圧力等から断れないような事態が生じることは防がなければならない、依頼を行ってはならない。

# 地域クラブを新たに立ち上げる場合（令和8年までのイメージ①）

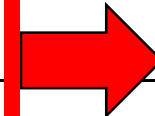


## 寒河江市の方針 部活動改革について

- I. 令和5年度の新中学1年生から学校部活動は任意加入とする。
- II. 令和5～7年度の3年間で、地域クラブ活動が成り立つ仕組みを構築する。
- III. 令和8年度より、学校部活動は平日に行う。休日は地域クラブで活動することを目指す。  
(地域クラブ活動では、複数の学校の生徒が参加することも見込まれる。)

## Ⅱ. R5～R8の休日の学校部活動のあり方について

R5の学年	R5		R6		R7		R8	
	4～6月	7～3月	4～6月	7～3月	4～6月	7～3月	4～6月	7～3月
中3	中3							
中2	中2	中2	中3					
中1			中2	中2	中3			
小6			中1	中1	中2	中2	中3	
小5					中1	中1	中2	中2
小4							中1	中1



**休日の部活動  
なし**

## Ⅱ. R5～R8の休日の学校部活動のあり方について（案）

	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
	4～6月	7～3月	4～6月	7～3月	4～6月	7～3月	4～6月	7～3月
休日の活動	土・日いずれかを休養日	月に1回以上は土・日連続休養日		月に2回以上は土・日連続休養日		休日の活動なし		
強化期間	土・日OK 木曜日OK	土・日いずれかを休養日 木曜日はOK・延長あり	土・日いずれかを休養日 木曜日はなし 終了延長なし		強化期間なし			

**休日の部活動なし**



# R4地域移行に関する検討会議(話し合いの概要)

- 部活動改革についての理解が不足している。部活動改革の周知に努める。各種競技団体や連盟や文化団体への丁寧な説明。市報やネットを活用する。「地域移行」というネーミングが良くない。
- 指導者をどう確保していくのか大きな問題である。
- 関係団体等の現状や中学生を受け入れることについての意識を把握するためのアンケートを検討する。
- 国は、要保護世帯・準要保護世帯に、補助する考えがあるようだが、市としてもどれだけのことができるか検討していく。
- 大会で勝ちたい子や活動を楽しみたい子などがいる。受け入れる団体は、競技力向上とか、活動を楽しむとか方針を示す。
- PTA代表、スポ少本部長、スポーツ協会長など上部の人たちの会議も必要である。各競技団体の代表者も入った会議や実務者レベルまで広げた検討会もする。5・6年の保護者の参加も検討する。

# 部活動改革進捗状況(令和5年度計画)

- ① 寒河江市中学校部活動改革検討委員会
- ② 部活動のあり方検討会議(市内中学校長)
- ③ 中学校教師への部活動改革説明
- ④ 中学校保護者への部活動改革説明
- ⑤ 小学校保護者への部活動改革説明
- ⑥ スポーツ団体への部活動改革説明  
(市スポーツ少年団、市芸術文化協議会、市スポーツ推進委員会)
- ⑦ 西村山市町教育委員研修会 7/13

# 令和5年度は

## ➤ 団体・生徒・保護者・地域・学校と 部活動改革の**理念の共有**

### 生徒・保護者

- 任意加入についての理解
- 休日の活動についての検討
- 地域クラブについての理解

### 関係団体

- 部活動改革について
- 「子どもの活動の場」づくり



### 中学校

- 任意加入に関わるシミュレーション
- 中体連の方向性についての議論

### 教育委員会

- 部活動改革の説明
- 予算措置

# アンケートのお願い

現在、部活動改革を進める上で、情報を収集しております。

期間：7月28日～8月28日

方法：さくら連絡網

対象：小6～中2のお子さんをお持ちの保護者の方

内容：部活動改革について、お子さんの休日のクラブ活動への参加の形、活動時間、月謝の金額、心配なこと、させたい活動、ご意見をお聞きします。

# まとめ

これからの子どもたちの活動

**持続可能**がキーワード

学校、団体、地域、保護者の当事者意識

新しい活動の仕組みを構築

生徒の主体性を育む活動を支援できる環境

これまで学校部活動が果たしてきた役割・効果

これからの地域での活動の場の広がりへの期待

新しい形の持続可能な子どもたちの活動

## これまでの経過等について

これまでの会議の内容や市の方針等については、  
市ホームページで公開しております。

